

地域01：高齢者を支える仕組み1

日時：4月17日（水） 5時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 少子高齢化社会の現状について説明できる。
2. 高齢者が社会生活をおくる上での困難さについて説明できる。
3. 認知症の特徴とコミュニケーションの方法について説明できる。
4. 認知症患者のケアにおけるヒューマンケアについて説明できる。
5. 地域包括ケアシステムの概要について説明できる。

キーワード：

老年人口割合、世帯構成、認知症、ヒューマンケア、地域包括ケアシステム、ADL、IADL、日常生活自立度、老年症候群、フレイル、

教科書：

◆ 国試・改定コアカリ対応 地域医療学入門（診断と治療社）初版 p2-7

準備：

キーワードについて、教科書、Web等を用いて学習すること（20分）

地域02：高齢者を支える仕組み2

日時：4月22日（月） 1時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 高齢者を支える仕組みとしての介護保険制度の概要について説明できる。
2. 高齢者の抱える社会的支援のニーズの多様性について説明できる。
3. 地域での生活を支える要因について説明できる。
4. 高齢者の暮らしを支える方法について自らの考えを説明できる。

キーワード：

介護保険制度、介護認定、介護サービス、居宅サービス、地域包括ケアシステム、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律、地域医療ビジョン、生活支援、介護予防、Living in place

教科書：

◆ 国試・改定コアカリ対応 地域医療学入門（診断と治療社）初版 p78-83

準備：

キーワードについて、教科書、Web等を用いて学習すること（20分）

地域03：「病を治す」ということ

日時：5月9日（木） 3時限

担当者：江利川 毅(医療政策学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

1. 医療を取り巻く現状と課題について説明できる。
2. 社会保障制度の持続可能性について説明できる。
3. 保健医療福祉サービスの効率化について説明できる。
4. 効果的な治療者が持つ治療的自己について説明できる。
5. 全人的医療について具体例を挙げて説明できる。

キーワード：

社会保障制度、持続可能性、尊厳ある死、死生観、介護予防、社会参加、生涯医療費、医療保険制度、地域包括ケアシステム、治療的自己、全人的医療

参考書：

- ◆ 美しい死（森亘著）

準備：

キーワードについて、書籍やWeb等を用いて学習すること（20分）

地域 04：社会福祉・地域福祉

日時：5月27日（月） 1時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

- 社会福祉・ケアの「対象」について説明できる。
- 社会福祉・ケアの「担い手」について説明できる。
- 社会福祉・ケアの「方法」について説明できる。

キーワード：

ユニット：

社会福祉、地域福祉、ケア

教科書：

- ◆ 特に指定なし

参考書：

- ◆ 特に指定なし

予習：

シラバス記載内容について、予め調べ、考えてから講義に参加してください。（15分）

復習：

動画教材で学修した内容を復習してください。（15分）

地域 05：災害時の生活支援

日時：5月28日（火） 1時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

- 身近な災害・頻発する災害について説明できる。
- 被災するということとニーズについて説明できる。
- 災害時の生活を支えることについて説明できる。
- 復興期における見守り・相談支援と災害ケースマネジメントについて説明できる。

キーワード：

ユニット：

災害、被災地のニーズ、災害時の生活、復興期

教科書：

- ◆ 特に指定なし

参考書：

- ◆ 特に指定なし

予習：

シラバス記載内容について、予め調べ、考えてから講義に参加してください。（15分）

復習：

動画教材で学修した内容を復習してください。（15分）

地域 06 : 家庭医療と総合診療

日時 : 5 月 29 日 (水) 1 時限

担当者 : 加藤 寿(医学教育センター) 金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美
(医学教育学)

内容 :

1. 家庭医療とは何か説明できる。
2. 「患者中心の医療」について説明できる。
3. 家庭医療実践におけるシステム思考について説明できる。

キーワード :

家庭医療、総合診療、プライマリ・ケア、患者中心の医療、BPS モデル、省察的实践、システム思考

準備 :

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 07 : 地域医療構想

日時 : 7 月 9 日 (火) 4 時限

担当者 : 関本 建二(医学教育センター) 金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美
(医学教育学)

内容 :

1. 地域医療構想とは何か説明できる。
2. 2025 年の必要病床数の推計と病床整備について説明できる。
3. 地域医療構想の推進体制について説明できる。
4. 病床機能報告制度の課題について説明できる。

キーワード :

2025 年問題、医療機能の分化と連携、必要病床数、特例加算、病床機能報告

準備 :

キーワードについて図書、Web 等を用いて調べる。(10 分)

地域 08 : 地域の健康危機管理

日時 : 7 月 9 日 (火) 5 時限

担当者 : 関本 建二(医学教育センター) 金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美
(医学教育学)

内容 :

1. 健康危機管理における医師の役割について説明できる。
2. 地域健康危機管理の実例として新型コロナウイルス感染症への埼玉県の対応を通じて、危機管理のポイントについて説明できる。

キーワード :

監視、保健所、新型コロナウイルス感染症、感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、病床確保、クラスター対策、変異株、ワクチン

準備 :

キーワードについて図書、教科書、Web 等を用いて調べておく。

地域 09 : 医療と法(医師の責務)

日時 : 9月2日(月) 4時限

担当者 : 大平 雅之(国立精神・神経医療研究センター病院) 柴崎 智美(医学教育学)

金田 光平(医学教育センター)

内容 :

1. 医師という職業の特殊性について説明できる。
2. 法律で規定された医師の責務について列挙できる。
3. 医師法上の義務について説明できる。
4. 医療法に基づく医師の責務について説明できる。
5. 刑法に基づく医師の義務について説明できる。

キーワード :

応召の義務、無診療治療の禁止、無診察診断書作成の禁止、診断書作成の義務、異状死体の届出義務、麻薬中毒者届出義務、児童虐待の通告の義務、守秘義務、インフォームドコンセント

準備 :

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 10 : 医療と法(法の仕組み)

日時 : 9月2日(月) 5時限

担当者 : 大平 雅之(国立精神・神経医療研究センター病院) 柴崎 智美(医学教育学)

金田 光平(医学教育センター)

内容 :

1. 法の仕組みについて説明できる。
2. 医師法、コメディカル法について説明できる。
3. 医療法について説明できる。
4. 公衆衛生関係法規について説明できる。
5. 刑事責任、行政責任について説明できる。
6. 民事医療訴訟について説明できる。
7. 薬事法と医療の関係を説明できる。
8. 生命倫理と法の仕組みを説明できる。

キーワード :

医師法、医療法、刑事責任、行政責任、民事医療訴訟、薬事法

準備 :

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 11 : 地域包括ケアの進展と地域医療の展望

日時 : 10月22日(火) 1時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容 :

地域包括ケアシステムが必要となった背景と今後の展望について理解する。

1. 地域包括ケアの基本的な概念について説明できる。
2. 医師として将来地域で役に立つ医療人になるために、どのような価値観を持つことが求められているか説明できる。

キーワード :

ユニット :

地域包括ケア、高齢社会、自助、互助、共助、公助、老年人口割合、医師不足

予習：

キーワードについて事前に調べる。(15 分)

復習：

シラバスの内容について理解したことを簡潔にまとめる。(20 分)

地域 12：地域の中での医療福祉介護

日時：10月23日（水） 1 時限

担当者：加藤 寿(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平
(医学教育センター)

内容：

1. 地域医療の課題について説明できる。
2. 医療と介護・保健の連携に必要な観点について説明できる。
3. 地域医療における医師の役割について説明できる。

キーワード：

地域医療、総合診療医、多職種連携、地域包括ケアシステム、統合的ケア、地域志向ケア

準備：

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 13：医療と経済 1（経済の捉え方）

日時：11月5日（火） 4 時限

担当者：山内 慶太(慶應義塾大学) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 経済とは何か、自分のことばで説明できる。
2. 財貨の需要の決定要因について説明できる。
3. 財貨の生産と分配の法則について説明できる。
4. 経済活動が社会にどのような影響を与えるか説明できる。
5. 消費者の意志決定に関する法則について説明できる。

キーワード：

需要、供給、財貨、消費者、経済活動、神の見えざる手

準備：

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 14：医療と経済 2（マクロ的視点からみた医療経済）

日時：11月5日（火） 5 時限

担当者：山内 慶太(慶應義塾大学) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 国民医療費の収支と将来予測について説明できる。
2. 費用対効果の概念について説明できる。
3. 医療制度と医療費の財源について説明できる。
4. 社会の課題と医療経済との関係を説明できる。

キーワード：

費用対効果、国民医療費、医療制度、出来高払い、包括払い、

準備：

キーワードについて、書籍、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 15 : 地域基盤型 IPW 論

日時 : 12 月 6 日 (金) 1~3 時限

担当者 : 米岡 裕美(教養教育) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)
高橋 幸子(医療人育成センター・地域医学推進センター)

内容 :

彩の国連携科目の IPW 論として位置づけられた講義である。IPW (専門職連携実践) に必要なチーム形成、リフレクション、ヒューマンケアマインドについて理解する。

1. ヒューマンケアマインドとは何か説明できる。
2. 地域基盤型 IPW が必要になった社会的背景について説明できる。
3. 地域基盤型 IPW とは何か説明できる。
4. チーム形成のプロセスについて説明できる。
5. 省察 (リフレクション) の目的と方法について説明できる。
6. チーム活動の実際を体験し、自己とチーム活動を振り返ることができる。
7. ひとをケアするとはどのようなことか自らの意見を述べるができる。

キーワード :

IPE, IPW, 少子化高齢化, 持続可能な社会, タックマンモデル, ヒューマンケア, ケアの本質, 省察, 葛藤

参考書 :

◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム

準備 :

【予習】1 年生地域医療とチーム医療の講義資料を用いて、キーワードについて調べておく。(15 分)

【復習】地域基盤型 IPW の必要性和内容を整理する。自分の体験したチーム活動のプロセスを分析する。(15 分)

地域 16 : 高齢者を支える仕組み 3

日時 : 12 月 11 日 (水) 5 時限

担当者 : 荒船 丈一(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 社会の要請に応じた医療の歴史的変化について説明できる。
2. 人口減少社会における医療のあり方について説明できる。
3. 高齢者や障害者の暮らしを支えるための方法について説明できる。
4. 医療経営と医師会活動について説明できる。
5. 将来の医療環境と医師の働き方について説明できる。

キーワード :

医療保険制度、地域包括ケア、日本医師会、医療経営

準備 :

キーワードについて、Web 等を用いて学習すること (20 分)

地域 17 : 公衆衛生と予防医学

日時 : 12 月 11 日 (水) 4 時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 医師の責務について説明できる。
2. 一次予防、二次予防、三次予防について説明できる。
3. 公衆衛生と疫学、予防医学の概念について説明できる。
4. ヘルスプロモーションについて説明できる。
5. 自らの身近に起こるリスクを回避するための方法について考えることができる。

キーワード：

医師法第1条、憲法第25条、社会との契約、予防医学、PDCA サイクル、ヘルスプロモーション、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、リスク

準備：

Web 等を用いてキーワードについて予め調べてくる。(20 分)

地域 18：まとめ（ユニット内テスト）

日時：1 月 9 日（木） 2 時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

本ユニット内で学習した地域医療とチーム医療に関する基本的な知識と本ユニットが担当するマイルストーンの評価を行う。

1. 介護や認知症など高齢者をとりまく社会的側面について概説できる。
2. 保健医療福祉介護の現場で働く様々な専門職の専門性を理解し、自分の専門の特徴について表現することができる
3. 認知症を含む高齢者の暮らしを支えるための地域医療の課題と総合診療・プライマリケアの意義を概説できる
4. 医療経済、医療保健福祉介護制度、保健医療機関の役割を概説できる。
5. 地域医療とチーム医療に関する基本的な知識や考え方について説明できる。

キーワード：

ユニット：

少子高齢化人口減少社会、老年人口割合、廃用症候群、老年症候群、医師法第1条、健康の定義、廃用症候群、ADL、IADL、高齢者総合機能評価、EBM、NBM、タックマンモデル、基準病床数、地域医療計画、地域医療構想、介護保険法、認知症ケア、地域包括ケア、IPW・IPE、職種理解、OARR、アイスブレイク、認知症高齢者、包摂、統合、自助、互助、共助、健康危機管理、予防医学、公衆衛生

予習：

講義資料を用いて、重要な術語について理解してから参加してください。(60 分)

復習：

実施後に公開されるテスト問題と講評をもとに、自分の理解度を確認してください。(15～30 分)